

令和3年5月28日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 6月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

..... GIGA スクール構想

校長 村上 雅基



さわやかな風が感じられる5月前半から、曇り空が続く後半と、季節は梅雨に向かっていくのを実感します。西日本を中心に梅雨入りが始まり、観測史上2番目の速さの地域もあるとのこと。温暖化の影響も、さまざまな季節ごとに感じます。

毎年学校だより6月号では、スポーツフェスティバルの様子を話題にしていますが、今年度のスポーツフェスティバルは、この学校便り発行後の開催です。5月25日(火)に全体練習を行いました。昨年度の5月は、臨時休校が続いていて、校内は静まり返っていました。全体練習で、全校児童が整列をしている姿を観るだけで、「これぞ学校!!」と喜びを感じました。児童は、先生の指示で一糸懸命練習に臨んでいました。きっと素晴らしいスポフェスになるだろうと実感しました。

文部科学省は、令和元年12月に、「GIGAスクール構想」を発表しました。「GIGAスクール構想」とは、一言で言うと「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略です。

時代を生きる子ども達にとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用は必須です。また、変化の激しい時代を生き抜くには従来の一斉教育だけではなく、多様な子ども達を誰一人取り残すことのない、個別最適化された創造性を育む教育の実現が重要であり、ICT教育で次世代の人材を育てる必要があります。これらを持続的に実現させる構想が「GIGAスクール構想」です。

そして、1人1台の端末と先生をつなぐツールとして「ロイロノート・スクール」を活用します。「ロイロノート・スクール」は、iPadなどのタブレットを使用して、子どもたちの主体性をのばす授業を作るためのツールです。先生と生徒のやり取りを活発化させることで、新学習指導要領でも重視されている「思考力」「判断力」「表現力」を育てることを目標としています。この準備のために昨年12月に「ロイロノート・スクール」を使用して各ご家庭と学校との接続確認をしていただき、今回2回目の接続確認をお願いしています。いよいよ6月下旬までには、児童1人1台に、カバーの裏にキーボードが装備されたiPadが配付されます。今後さまざまな活用を予定しておりますので、今回の接続確認のご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、5月の放送朝会で、校長の話として、「私の小学校時代に興味を持っていたこと」を話しました。「小学校低学年時に、母がデパートの屋上の金魚すくいに連れて行ってきて、たくさんの金魚やタナゴをすくい、14匹の魚を家に持ち帰ったところから、観賞魚を飼うことにとっても興味をもった。その後、熱帯魚を飼いはじめ、大人になってからは海水魚も勤務校や自宅で飼っていた。今でも自宅で金魚や熱帯魚の繁殖をしている。小学校時代に自分の好きなことをたくさん見つけて、大事にしましょう。」のような内容でした。その後、中休みや昼休みに数人の中学年の児童が、家の金魚の写真を見せてきてくれたり、魚図鑑を持ってきてくれて説明してくれたりとお話が弾むようになりました。全校では各学年、水槽をおいてある学級があります。低学年のある学級では、「生き物係を14人でつくりました!」と報告にきました。その学級にはまだ生き物はいなかったのですが、その後、新たに熱帯魚水槽を立ち上げて、毎日興味深々に見ている児童たちを見かけます。

小学校でのさまざまな出会いや経験は、大人になってからの趣味だけでなく、仕事にも影響があるかもしれません。授業だけでなく、遊びの時間、休み時間での校庭での発見、宿泊行事での体験など、さまざまな経験をして、感性豊かに育ってほしいと思います。